

令和8年度 慢性腎臓病（CKD）対策予算案の概要

令和8年度予算案：2.6億円（令和7年度予算額：2.0億円）

令和7年度補正予算額：0.2億円

基本的な考え方

都道府県等が行う慢性腎臓病（CKD：Chronic Kidney Disease）に関する連絡協議会の設置、研修の実施、正しい知識の普及啓発等の取組を支援するとともに、CKDに関する診断・治療法の研究開発のほか、腎不全患者に対する緩和ケアの提供体制の整備等を総合的に推進する。

1. 慢性腎臓病（CKD）特別対策事業

0.4億円（0.4億円）

- ①患者等一般向けの講演会等の開催
- ②病院や診療所等の医療関係者を対象とした研修の実施
- ③CKD診療に関わる医療機関情報の収集と提供
- ④円滑なCKD診療連携体制の構築 等

2. 腎不全患者に対する緩和ケア等の総合推進事業費（新）

0.8億円（0億円）

- ①持続可能な在宅医療の診療体制構築するためのモデル事業の実施
- ②緩和ケアを含めた腎不全治療に関する正しい情報の提供 等

（参考）【令和7年度補正予算額】

0.2億円

腎不全患者に対する緩和ケアに関する研修プログラム作成等の支援 等

3. 腎疾患対策費

3百万円（3百万円）

腎疾患対策検討会報告書に基づく腎疾患対策推進に関する情報提供 等

4. 厚生労働科学研究費等補助金 等 （厚生科学課計上）

1.4億円（1.4億円）

- ①診療連携を視野にいれた、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究
- ②災害時の透析医療確保に資する研究
- ③腎臓をターゲットとした診断法・治療法の研究開発 等

※がん・疾病対策課計上の主な事業を記載。

※計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。